購読の申しこみは
日本医労連へ
購読料　年間1,500円（送料込）
（組合員の購読料は組合費に含む）
送金口座　中央労金荒川支店（普通預金）1123296
郵便振替００１６０-6-８４８６６
ホームページ　http://www.irouren.or.jp/
電子メール　n-ask@irouren.or.jp

医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

1746号・1747号合併号
2021年１月１日
編集・発行
日本医療労働組合連合会
〒110-0013　東京都台東区入谷1-9-5
日本医療労働会館３階 TEL03（3875）5871
発行　毎月２・４木曜日
（昭和36年９月15日
第三種郵便物認可）

国民のいのち・人権が守られる憲法いかし、働き続けられる社会に

あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナ感染症拡大により、組合員の皆さんは大変な状況下での業務や組合活動を強いられました。あらためて皆さんの職場・地域でのご奮闘に敬意を表します。

２０２０年９月安倍政治を継承する菅政権が発足しました。安倍さんの在任中（７年８カ月）や２０２０年秋の臨時国会でも、私たちの運動と世論の力で「改憲」を許しませんでした。この運動の成果に確信をもちたいと思います。発足した菅政権は、改憲や沖縄辺野古米軍基地建設に固執し、政治目標を「自助、共助、公助」と政府の役割を放棄して自己責任を国民に迫っています。また、日本学術会議委員任命拒否などの強硬姿勢は、安倍政権以上の強権政治ぶりで、国民の切実な要求とはかけ離れた政治姿勢と言わざるを得ません。

政府がすすめる「全世代型社会保障改革」は、社会保障の拡充を強く求める国民の願いに背を向け、逆に全世代への負担増を押しつけるものです。医療・社会保障の切り捨て、アメリカ・大企業・効率最優先の政策ではいのちと人権を守れないということが、新型コロナを経験した国民の間で意識され、新自由主義・市場原理を追求する社会のあり方を問う声が高まっています。２０２１年度防衛費は過去最高の５兆５千億円を概算要求していて、コロナ対策等に全力を尽くさず防衛費のみが毎年膨らむ、いのちを軽んじる政策からの転換を訴えていきましょう。

今年は、東日本大震災・福島原発事故から10年を迎えます。その後も熊本・大阪・北海道胆振地震と災害が続きました。まだまだ、真の復興とはかけ離れていると言わざるを得ません。住み慣れた地域での日常が戻るよう、真の復興を求めていきましょう。

医療提供体制の縮小が続いてきたところに新型コロナが猛威を振るい、これまでの医療・介護・福祉・公衆衛生の脆弱性が明らかになりました。にもかかわらず政府は、コロナ対応では医療体制の強化を言いながら、地域医療構想は推進するという矛盾した姿勢です。住む場所によって、いのちに格差をつけるような政策は断じて許せるものではありません。

「いのちまもる国会請願署名」を前面に掲げ、社会保障の変質、憲法25条の形骸化を許さず、安全・安心の医療・介護をめざして、新たな感染症や自然災害など不測の事態においても国民のいのち・人権が守られ、憲法が活かされ、誰もが人間らしく誇りを持って生き・働き続けられる職場、生活できる社会を実現するために奮闘しましょう。

今年、想定される総選挙や首長選挙等では、市民と野党の共闘の成果を引き継ぎ、私たちの要求が実現される政治へと転換させましょう。

組織を大きく強くしつつ、人間らしく働き続けられる賃金・真の働くルール確立、憲法が活かされる職場・社会実現を目指す一年に、全組合員一丸となって奮闘しましょう！

組合員の皆さんのご健勝とご活躍を祈念いたします。本年も何卒、よろしくお願いいたします。

日本医療労働組合連合会
中央執行委員長
森田 しのぶ

合併号のため、「脈路」はお休みします。

係争中及び終結組合（発生日順）

■係争中の事件

【全 JCHO 労組】 相模野病院不当転勤事件 【神奈川】 個人加盟労働組合：不当解雇事件 【北海道】 恵和会労働組合：不当労働行為事件【佐賀】希望の家労働組合：地位確認等請求事件 【広島】 広島厚生事業協会府中みくまり病院労働組合：不当労働行為事件【愛知】南医療生協労働組合：不当労働行為事件 【神奈川】 東横恵愛病院労働組合：雇止め事件【北海道】北海道医療一般労働組合：不当配転事件【全医労】武蔵支部：不当労働行為事件 【北海道】 恵和会労働組合：損害賠償請求事件【北海道】恵和会労働組合：損害賠償請求事件【宮城】みやぎ医療・福祉ユニオン：損害賠償請求事件【全医労】九州医療センター支部：不当労働行為事件【神奈川】個人加盟労働組合：不当労働行為事件【青森】つがる西北五広域連合職員労働組合：不当労働行為事件【東京】厚生壮病院労働組合：不当労働行為事件【大阪】済生会千里病院労働組合：違法当直差額賃金請求事件【千葉】松戸市立医療センター労働組合：不当配転命令事件【千葉】千歳会労働組合：不当労働行為事件【北海道】恵和会労働組合：損害賠償請求事件

■終結・終了事件

【熊本】個人加盟労働組合：不当解雇事件【全医労】不当労働行為事件

第43回 争議対策会議

一人の仲間への攻撃も産別の力で守り抜く

日本医労連は12月８日、第43回争議対策会議を開催し、４全国組合19県医労連から54名が参加（オンライン参加含む）。争議組合の紹介とたたかいを交流しました。

争議対策会議は、この間の争議でのたたかいの教訓を交流し、全面解決をめざす意思統一を進めることを目的に開催しました。２０２０年12月現在、報告のあった争議のうち、係争中は13加盟組織（２全国組合、11県医労連）で18件、このうち新たに申請された争議は９件でした。

森田しのぶ中央執行委員長の挨拶のあと、米沢哲組織共闘局長が問題提起を行いました。問題提起では、争議勝利をめざすたたかいの産別基本方針として、①「一人の仲間への攻撃も産別の力で守り抜く」立場で、支援と連帯行動を強化する。②闘争をささえる財政支援にとりくみ、財政的にも争議を産別全体で支える。③労働組合の日常活動や組織の拡大強化が重要。たたかいの中で仲間を増やし、争議に勝利し、要求を前進させた経験に学び、広げる。④労働組合への不当労働行為は放置せず、断固として反撃し、正常な労使関係を構築する。学習を重視し、組合の基礎的力量を高める。の４点を改めて確認しました。

すべての争議の状況については、月刊「医療労働」３月号に掲載予定です。

千葉・千歳会労働組合

第二組合を使った支配介入を許すな

千葉・千歳会労組では、組合潰しとたたかっています。

２０１９年１月の組合結成以降、19年年末一時金の団体交渉拒否や組合員に対する不当な懲戒解雇処分など暴力事件をでっち上げたうえ、解雇撤回を求める団体交渉の場に千歳会職員と称する外部組織の人間を連れ込んで団体交渉を妨害しました。法人は、この外部組織に第二組合を立ち上げさせ、県医労連や千歳会労組に対する誹謗中傷ビラを掲示させるなど不当労働行為を行っています。また、労組委員長・書記長に対する不当懲戒解雇処分についてはパワハラ事案（でっち上げ）による懲戒処分の策動や、不正請求の責任を同委員長に転嫁して不当降格処分にするなど、法人側は常軌を逸した攻撃で組合潰しを仕掛けてきています。

不当解雇事件については「解雇撤回、職場復帰」の和解を勝ち取っていますが、その他の不当労働行為については、関信ブロックをはじめ、自治労連やＪＡＬ争議団の支援も受け、社会的にも包囲しながら労働委員会でのたたかいを続けています。

熊本・個人加盟労働組合

労働組合を知ることができて満足

そよ風不当解雇事件は、障害者施設に入職した職員が、本採用となって働きだした矢先に突然呼び出され、３日間にわたって退職勧奨を受け退職を余儀なくされた事件です。退職勧奨を受けた職員は、熊本県医労連に相談・加入して団体交渉を行いましたが、法人側は事実を一切認めないばかりか、職員の誹謗中傷と虚偽の主張、パワハラを繰り返しました。退職を余儀なくされ、損害賠償を求める民事裁判を起こしていましたが、前回の争議対策会議以降、地裁で勝利判決を受けていました。しかし、法人側が福岡高裁に控訴し、結審後に行われた和解協議では逆転敗訴の可能性を示唆するような裁判所の発言があったため、やむなく和解に応じる結果となりました。

和解の内容は納得できるものではありませんでしたが、「労働組合を知ることができたことで満足している」と和解を受け入れ、その後も労働組合の活動に積極的に関わり、他の組合員を励ます存在になっています。

そよ風不当解雇事件は、障害者施設に入職した職員が、本採用となって働きだした矢先に突然呼び出され、３日間にわたって退職勧奨を受け退職を余儀なくされた事件です。退職勧奨を受けた職員は、熊本県医労連に相談・加入して団体交渉を行いましたが、法人側は事実を一切認めないばかりか、職員の誹謗中傷と虚偽の主張、パワハラを繰り返しました。退職を余儀なくされ、損害賠償を求める民事裁判を起こしていましたが、前回の争議対策会議以降、地裁で勝利判決を受けていました。しかし、法人側が福岡高裁に控訴し、結審後に行われた和解協議では逆転敗訴の可能性を示唆するような裁判所の発言があったため、やむなく和解に応じる結果となりました。

和解の内容は納得できるものではありませんでしたが、「労働組合を知ることができたことで満足している」と和解を受け入れ、その後も労働組合の活動に積極的に関わり、他の組合員を励ます存在になっています。

青森・つがる西北五広域連合職員労働組合

組合弱体化を狙った再任用拒否は許さない

青森・つがる西北五広域連合職組では、長年にわたって執行委員長が中心的に組合活動を担ってきました。その執行委員長が定年に達し、再任用を申請したことに対して、広域連合がこれを拒否しました。同時期に再任用を希望した13人のうち、再任用が認められなかったのは執行委員長ただ１人でした。県医労連は、再任用の可否に至る経過や判断、拒否の理由等を明らかにするよう求めて団体交渉を重ねたものの姿勢は変わらず、情報開示請求によって開示された資料による拒否理由も不十分だったことから、地位確認を求めて青森地裁五所川原支部に提訴しました。

この事件では、これまで組合活動を担ってきた執行委員長を排除して組合の弱体化を図ろうとしていることは明らかです。一方で、組合活動が一人に頼ってきた弱点を突かれたことも事実で、今後、組合の中に争議支援の団結と世論をつくっていくことが必要となりますが、同時に組合活動の強化をしていくという重要な課題も抱えています。

2020年度 夜勤実態調査記者発表

看護職員の増員が労働環境改善のカギ

記者発表終了後も個別取材が続きました。

日本医労連は12月14日、厚労省内で「２０２０年度夜勤実態調査」結果の記者発表を行いました。

冒頭、森田しのぶ中央執行委員長は、調査結果について2交替夜勤が過去最高であること、勤務間隔が極端に短い状態など依然として劣悪な状況が続いていると報告し、「コロナを経験する前もぎりぎりの人員体制で、夜勤日数などの改善が必要だった。不測の事態にも対応できる人員体制を維持するためにも、国際基準に合わせた改善が必要で、そのことが国民のいのちをまもる医療につながる」と訴えました。続いて、調査結果の概要を松田加寿美中央執行委員が報告しました。

職場の実態報告として、全医労・森川息吹書記次長からコロナ禍での採用内定について「想定人数より少ない状況が出ている。コロナ以前からの人員不足もあり、このままでは通常の人員体制も保てない」と指摘しました。

全日赤の看護師は、夜勤明けの休暇がとれない状況についての報告と、夜勤中の休憩について「16時～21時の時間帯では、90分の休憩が取れず、食事もままならないことが多々ある。看護師の数が現場の実態にあっていない。看護師自身が肉体的にも精神的にも疲弊しており、医療崩壊になりかねない」と訴えました。

調査結果は、月刊「医療労働」12月号に掲載されています。

2021 新春クロスワードパズル

【問題】二重ワクの7文字をうまく並べてできる言葉は？

ヒント＝牛もヨダレを垂らしていますよ。【作／モロズミ勝】

答

ヨコのカギ

1　開会式は７月23日の予定です
9　アウトライン。顔の……
10　大勢来てほしい。……客万来
11　東北地方では牛のこと。赤……
13　七福神の恵比寿様が左手に持つ
14　人の声です。……多重放送
16　芸術品の制作者のことです
17　昔からある１人用可搬暖房器具
18　正月行事の一つ。字を書きます
20　平幕力士が横綱に勝ちました！
21　あおむけに浮かんで貝を食べます
23　英語ではブレスレット
25　弾くまねが大げさな……ギター
27　……コール、……シーン
29　地球上で水に覆われていない部分
31　似顔絵のコツは……をつかむこと
34　正月は飲みすぎに要注意
36　職場のどこかにあります。……器
38　体や心が痛みます
40　太陽系で最も大きい惑星
42　源義経の幼名
43　牛に引かれて……参り

タテのカギ

1　初詣の時、くぐります
2　おみくじで一年の……を占います
3　オペレッタ。日本語では……
4　……室、……場、……槽
5　重油が漏れて海が……された
6　出席すること
7　宅配サービスでおなじみ
8　違いによって分けます
12　暑い日の公園ではここで休みます
13　七福神の船の帆に書いてあります
14　新年のあいさつ言葉
15　時代劇に出てくる高齢者。ご……
16　新聞や雑誌の文章の間に入った絵
17　かわいい顔ですが、漢字では海豹
18　並外れて厳しいこと。……体験
19　陸上で最も大きいほ乳類
22　電車やバスではつかまりましょう
24　周りを縁取るもの。窓……
26　川や海で浅い所をこういいます
28　踊り。日本……、民族……
30　信濃川は長野県では……川
32　今や韓国の国民食、フライド……
33　……が入ったダウンジャケット
35　手紙の始めは「拝啓」、結びは
37　午前２時～２時半。……三つ時
39　千年も生きるって？　まさかね
41　三陸鉄道リアス線最北の駅は？

【クロスワード応募方法】
①組合（病院）名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を２／17（水）までにご応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。
【応募先】
〒110-0013　台東区入谷１-９-５
「日本医労連教育宣伝局」
FAX：03-3875-6270
e-mail：n-ask@irouren.or.jp

2021年 今年はどうなる!?

政権交代の年に

2021年は丑（うし）年。動物の牛はのんびりしているイメージですが、昔から田畑を耕したり、ものを運んだりするのに欠かせない、大切な存在でした。コツコツ努力し、誠実さや粘り強さを表す象徴といわれます。

十二支と十干（じっかん）を併せた、2021年の本来の干支は「辛丑（かのとうし）」。陰陽五行説では「統制の強化」を意味するとか。なんだか、自分たちと意見の違う人を排除したがる、菅義偉首相の政治姿勢をほうふつとさせます。

前回の丑年（2009年）には、民主党が衆院選で大勝して政権交代を実現しました。今年も10月までには必ず総選挙があります。統制や排除に熱心な菅政権を交代させるため、共闘の力で野党がどれだけ頑張れるかが勝負どころでしょう。

安全なワクチンを

12年前の新型インフルエンザの流行時には、全国で多くの人が死亡するなど感染が拡大。この時は約7千万人分のワクチンが用意されました。昨年から世界で猛威を振るってきた新型コロナウイルスのワクチンと治療薬はいつできるのか―各国で開発競争が激しくなっていますが、安全性はきっちり担保してほしいですね。

どうなるオリ・パラ

新型コロナ感染拡大の影響で今年に延期された東京五輪（7月23日～8月8日予定）とパラリンピック（8月24日～9月5日予定）。政府や東京都など関係者は実施するとの姿勢を崩していませんが。問題は、新型コロナがいつ終息するかにかかっています。

感染が広がる米国や欧州など諸外国からの訪日が可能なのでしょうか。開催方法を含めて慎重な判断が求められます。

大震災から10年

2021年は東日本大震災からちょうど10年です。犠牲者は震災関連死を含めて2万2千人以上。いまなお避難を余儀なくされている人が全国で4万人を超えています。

東京電力福島第1原発の事故は暮らしや環境を破壊する一方、国のエネルギー政策見直しを求める大きな世論を作りました。今年も福島原発被害千葉集団訴訟第1陣（2月19日）や東海第2原発訴訟（3月18日）をはじめ、各地で原発のありようを問う判決が続きます。

（連合通信）

運動の中で新しい仲間を迎え入れよう

コロナ禍で生活や権利が脅かされる中、労働組合とつながることで権利を回復した未組織労働者が増えています。

感染対策に気を配りながら、労働組合の根幹である「対話」を広げる取り組みが、各地ですすめられています。

仲間からのメッセージ
全医労山形病院支部
書記長　木村　誉（ほまれ）さん

全医労では、毎年11月に全国統一で「いい・いちにち行動」として組織拡大の集中日があります。山形病院支部は、次世代を考え20代中心の執行委員が数多くいます。若い執行部のみなさんの頑張りで！今年も13年連続組織拡大で大成功です。

第１回の2008年以降の快挙です。08年１人、09年１人、10年１人、11年４人、12年５人、13年８人、14年２人、15年３人、16年３人、17年１人、18年６人、19年１人、今年は２人です。１年に１度のイベントで12年間の組合加入者は、な！なんと！38人です。

今、現在山形病院支部は、飛ぶ鳥を落とす勢いで組織率は70%以上です。私ごとですが、私の趣味はハンティングです（笑笑）

仲間からのメッセージ
岡山医療生協労組
書記次長　山﨑久美子さん

毎年恒例の「パート昼食懇談会」、今年はコロナを理由に開催を断念しようかと思っていた矢先に「倉敷医療生協パート労組加入６人」のニュースが飛び込んできました。これはすごい！！と私の心に火がつきました。よし！今年も「パー懇」やろう！！

10月、パート・再雇用職員に「コロナの影響で収入減などないか。相談窓口を知っているか」等のアンケートを実施。加入用紙を「新規組合員にお米10キロプレゼント・職場にはみかん１箱プレゼント」などキャンペーンチラシ（写真参照）や医労連共済資料と一緒に同封し、350人へ配布しました。するとなんと！２人から加入用紙が届きました！自分宛てに尋ねられる機会の少ないパート職員さんにも寄り添えた実感を得ました。

コロナ対応で弁当無しの「パー懇」ですが、10月～11月で９人の拡大を実現しました。何より力を発揮してくれたのは「あんたも労組に入っとかれ～」という身近な仲間の声かけです。それが何よりあたたかかったとの声があり嬉しかったです。

新春インタビュー

立憲主義で一致し、政権交代の年に

元文部科学事務次官 前川喜平さん

Profile

まえかわ　きへい　1955年奈良県生まれ。東京大学法学部卒業後、1979年に文部省（現文部科学省）入省。初等中等教育局長、文部科学審議官などを歴任し、2016年６月から17年１月まで文部科学事務次官。加計学園問題をめぐる内部文書の存在を認め話題に。著書に「面従腹背」（毎日新聞出版）、「同調圧力」（角川新書、共著）、「官僚の本分」（かもがわ出版、共著）など多数。現在は自主夜間中学のスタッフとしても活動中。

2020年9月、7年8カ月続いた安倍政権が終わりましたが、長かっただけで良いことは一つもない政権でした。

小泉政権以来、新自由主義的な政策が続き、富める者はますます富み、貧しい者はますます貧しくなりました。現在、失業や倒産が増えていますが、これは新型コロナウイルスだけのせいではなく、アベノミクスの結果です。人間の命や生活をないがしろにしてきたアベ政治がもたらしたものです。

安倍政権のもとで防衛予算は膨れ上がりました。各省予算のうちトップは厚生労働省ですが、2位グループは国土交通省・文部科学省・防衛省です。このうち文科省の予算は年々減らされ、逆に防衛省予算は増額が続いています。2020年度予算で防衛省の予算は文科省を逆転しました。

憲法が破壊された

安倍政権は立憲主義を破壊し続けた政権でしたが、その最大のものが安保法制＝戦争法でした。これはそもそも違憲立法です。集団的自衛権が憲法9条のもとで認められるなどという閣議決定は、憲法破壊の最たるものです。

安倍政権は同時に、官僚を官邸の下僕・私兵にしてしまいました。最高裁の裁判官も、いまや全て安倍内閣の下での任命です。会計検査院や人事院など、政府から一定の独立性を保っていた機関にも支配は及び、会計検査院は森友学園問題を追及しきれず、黒川検事長の定年延長問題で人事院は官邸に屈する国会答弁をせざるを得なかった。

検察庁の定年延長問題でストップをかけたのは、土俵の徳俵でギリギリ踏みとどまったというところでしょうか。SNSの力もあって政府のねらいを押しとどめた。これは新しい形の民主主義の表れだと希望を感じました。

安倍政権は、憲法を破壊し、三権分立を破壊し、独裁政治に道を開くところまできました。続く菅政権にしても、看板が変わっただけで本質は同じです。むしろ、法務・警察・検察への支配をより強め、恐怖政治が始まるかもしれない。

民主主義を取り戻そう

これに対抗するには、野党が一つにまとまらなければなりません。新型コロナによる中小企業の倒産・廃業、労働者の失業などは今年、より顕在化するでしょう。新型コロナによる経済苦で死を考えるまで追い詰められている国民が大勢いる。政治は、そうした人たちに生きる希望を与えなくてはなりません。

私が専門とする教育の世界でも、同調圧力・権威主義がはびこり、ファシズムが現実のものとなってしまう。

新自由主義と決別し、ファシズムを食い止めるためにも、2021年は何としても政権交代の年にしてほしい。自民党の中にも護憲派はいるはずです。立憲主義か否かを対立軸にして、野党は立憲主義で一致して、政権を獲得してほしいと心から願っています。

医療の眼

「いのち署名」で、いのち優先の社会をめざそう

経済優先の菅内閣

新型コロナウイルス感染症が確認されてから、はや1年が経過しましたが、未だに収束の兆しは見えていません。政府は「最重要課題はコロナ禍対策」と言いながら経済回復に重点をおき、感染拡大の第3波が到来して感染者数が日々急速に増加しているにも関わらず「GOTOキャンペーン」を中止しようとしませんでした。その間にも感染者数、重症者数は増加し続け、マスコミも連日、医療崩壊を招く危険性が高まっている状況だと報道しています。新型コロナウイルス感染症対策分科会は「今の感染状況ではGOTOトラベルを中止した方が良い」と再三意見を述べ、日本病院会も即時中止を求める声明を発表するなど、国民の声が大きくなり、政府はやっと重い腰を上げました。しかし即時の実施とはならず、発表から約2週間後の12月28日からの一時中止となります。菅首相は「政府の役割は国民のいのちと暮らしを守ることで、暮らしを守らなければ命も守れなくなる」と言っていますが、いのちが守られなければ経済も回りません。

健康も脅かされている

コロナに感染するのではないかという恐怖感から、医療機関の受診控えも多くみられました。その結果、患者の減少による保険収入減で病院経営が悪化するとともに、健康への悪影響も出ています。全国保険医団体連合会が行ったアンケートでも、がんや心不全の進行、重症化の事例や、検査の延期、服薬の中断によって心疾患や糖尿病などの病状が悪化する事例が多く寄せられました。高齢者においては、外出控えによるADL低下や認知症の進行が増え、歯科では口腔状態の急速な悪化や、子どもの虫歯が増える傾向などが指摘されています。政府は国民の健康を守るためにも、経済優先ではなく、早期に新型コロナの感染拡大を抑え込む対策を講じるべきです。

看護師不足浮き彫りに

新型コロナ感染が急速に拡大し、医療現場の人員不足や病床の不足も深刻化しています。特に医療体制が逼迫している北海道や重症者の増加が続く大阪府の知事は、全国知事会に対し看護師の派遣を要請するとともに自衛隊にも要請し、看護師の確保をすすめています。

医療崩壊の危機

新型コロナ感染患者受け入れ病床が逼迫することによって一般病床をコロナ病棟に転換することが余儀なくされるなど、通常医療との両立も困難になっています。重症者も増え、一般病棟だけではなくICU病床も逼迫し、冬期に増加する脳梗塞や脳出血、心筋梗塞の患者を受け入れることができなくなる可能性も非常に大きくなっています。まさしく国民のいのちが危険にさらされています。この危機的状況は、国民や私たち医療労働者の声を聞かず、医療費削減政策を推し進めてきた国が引き起こしたものです。

今こそ声を上げる時

新型コロナウイルスは暫くなくならないと思われます。それどころか、また新たな感染症が拡大することも考えられます。今後新たな感染症の拡大や災害など不測の事態となった場合でも、誰もが必要な医療を受けることができる体制を確立して、国民のいのちを守ることが国の役割です。そして、財政支援も行い全国民の暮らしを守ることも国の責任です。そのことを「いのち署名」を通して国に訴え、誰もが安心して生活できる社会にしていきましょう。

佐々木　悦子